

# 平成22年度決算の概要

**資金収支計算書**…資金収支計算書は、その年度の教育研究活動などの諸活動に対応する収入と支出のほか、その年度内のすべての収入と支出の顛末を明らかにするものです。したがって、資金収入には授業料や入学検定料、寄付金、国からの補助金のほか、次年度の授業料等の前受金なども含まれます。資金支出には、人件費や教育研究にかかる経費、借入金返済支出、施設関係支出、設備関係支出などが含まれます。

また、収入の部合計には、上記前受金のほか、未収入金および前年度からの繰越金を含めています。支出の部合計には、前払金や未払金および次年度への繰越金を含めており、収入の部合計と支出の部合計が合うこととなります。

## (収入の部)

### 1. 学生生徒等納付金収入(4,448,121千円)

平成22年度（H22.5.1現在）の学生生徒等数は、4,484名（大学2,039、短期大学872名、高等学校756名、中学校379名、小学校238名、幼稚園200名）でありました。下記のとおり前年度と比較すると83名の減少、金額においては66,138千円の減少となりました。各学校の学生等数は以下のとおりです。

	大 学	大学院	短期大学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園	計(名)	対前年度
H20	1,923	85	921	774	461	232	208	4,604	
H21	1,935	81	886	787	464	233	181	4,567	△37
H22	1,959	80	872	756	379	238	200	4,484	△83

### 2. 手数料収入(74,140千円)

入学検定料が大半であり、平成22年度の志願者数は以下のとおりでありました。学園全体としては、対前年度703名の減少により、2,065千円の減少となりました。

	大 学	大学院	短期大学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園	計(名)
H20	1,588	179	724	904	382	64	76	3,917
H21	1,713	113	544	809	387	66	60	3,692
H22	1,251	128	630	626	249	59	46	2,989

### 3. 寄付金収入(64,361千円)

一般寄付金として、大学教育後援会より29,428千円、短期大学保護者会より

7,388千円、中高保護者会等より19,319千円、小学校保護者会1,685千円、幼稚園母の会より2,618千円頂きました。

特別寄付金は、財団法人様、金融機関様、あおい会様、短大保護者会様、個人様等より3,920千円頂きました。

#### 4. 補助金収入(1,048,876千円)

国庫補助金449,354千円、京都府補助金597,401千円、京都市補助金1,613千円、その他(城陽市、奈良県)508千円の補助金収入があり、対前年度88,832千円の増加となりました。これは、国庫補助金である私立大学等経常費補助金の増加(11,272千円の増加)、文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業」に採択されたことによる増加(23,909千円)、また、京都府の私立高等学校授業料減免事業等補助金が新たに設けられたことによる増加(32,702千円)が主な要因です。

#### 5. 資産運用収入(52,956千円)

地方債、公社債投信、銀行預金及び円貨建外国債券等よりの利息、配当金等の収入です。前年度と比較して17,852千円の減少となりました。これは、昨今の金利の低下、及び配当金収入の減少によるものです。

#### 6. 資産売却収入(371,433千円)

第221回利付国債償還50,000千円、公社債投資信託の売却139,293千円、シティーグループ円貨社債売却182,140千円による有価証券売却収入であります。

#### 7. 事業収入(23,814千円)

京都文教大学心理臨床センターにおける相談料収入8,539千円および公開講座収入399千円の他、大学の推薦入学者に対する入学前教育指導による収入が1,740千円、教員免許更新講習の収入が5,944千円、産業心理臨床家養成プログラムの収入が1,500千円等に加え、今年度より京都府委託事業であるワーク・ライフ・バランス地域推進事業に対する委託料4,250千円等が加わり、対前年度費8,371千円の増加となりました。

#### 8. 雑収入(169,165千円)

退職金財団よりの退職者18名に対する交付金受入収入158,835千円、事務委託手数料、科学研究助成金等の雑収入が10,329千円であります。

#### 9. 前受金収入(805,235千円)

平成23年度入学者の授業料等であり、平成22年度に入金となった金額で、貸借対照表の負債勘定科目に計上されます。

## 10. その他の収入(370,953千円)

前年度末における未収入金の収入分98,454千円(退職金財団未収入金74,501千円、補助金未収入金19,364千円他)、預り金収入268,178千円(源泉税、地方税等の預り分38,723千円、修学旅行費等預り分54,873千円、あおい会預り分135,038千円、同窓会・保護者会他の預り分10,253千円)及び学生への貸付金回収収入150千円であります。

## 11. 資金収入調整勘定(△1,111,442千円)

資金収支計算書は、資金の顛末を表すものであり、上記の収入科目の中には翌年度に収入となる未収入金と、前年度に収入となっている学納金の前受金が含まれています。よって、当年度の実際の資金の残高を表すためには、この調整勘定科目が必要となります。

つまり、上記収入科目の内、1頁の1. 学生生徒等納付金収入の中には、前年度に入金されている前期末前受金と、当年度まだ入金されていない補助金収入、退職金財団からの受入収入等の期末未収入金が含まれているため、除外する調整勘定科目です。

## 12. 前年度繰越支払資金(6,259,645千円)

前年度より繰越されている資金で、前年度の貸借対照表上の現金預金額であります。

## 13. 収入の部合計(12,577,258千円)

1～12迄の合計額がこの金額で、収入の総額となり、支出の部合計額と同金額となります。

## (支出の部)

### 1. 人件費支出(3,803,933千円)

教員人件費2,492,419千円(対前年度14,649千円増加)、職員人件費1,083,419千円(対前年度37,226千円増加)、役員報酬28,906千円(対前年度178千円減少)、退職金199,187千円(対前年度93,051千円増加)であります。対前年度144,749千円の増加となりました。

教職員数で比較しますと、教員数は213名と前年度比2名の減少であります。職員数は131名と4名の増加となっています。

また、退職者数は、教員13名(対前年度同数)、職員5名(対前年度3名増)となっています。

## 2. 教育研究経費支出(1,417,297千円)

対前年度368,247千円の増加です。対予算においては347,789千円超過しています。これは、

- ①月照館、サロン・ド・パドマに係る費用を施設関係支出（建設仮勘定）で予算化していましたが、経理処理上、教育研究経費で処理すべきである費用187,053千円（修繕費73,849千円、支払報酬1,653千円、消耗品費111,550千円）を教育研究経費に振り替えました。
  - ②大学における文科省の特別補助金対象であります大学教育の充実－ Good Practice ー事業に採択され、それに対応した経費が増加要因であります。内容としては、「質の高い大学教育推進プログラム（教育G P）」9,764千円、「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム（学生支援G P）」8,893千円、「大学生の就業力育成支援事業（就業力支援G P）」19,120千円です。
  - ③京都府のあんしん就学支援事業による学校負担分として、奨学金より42,078千円を支出しました。
  - ④管理経費で予算化していた経費のうち、約13,000千円を教育研究経費として経理処理いたしました。
  - ⑤その他、大学教育後援会、短期大学、中学・高等学校、小学校の各保護者会、幼稚園母の会からの一般寄付で使用させて頂いた経費60,440千円。
- 以上が予算を超過した主な要素です。

## 3. 管理経費支出(390,203千円)

対前年度77,985千円の増加です。短期大学の50周年記念事業関係が増加要因です。対予算では、13,322千円の減少です。

## 4. 借入金等利息支出(49,262千円)

日本私立学校振興・共済事業団並びに市中金融機関への支払利息分です。

## 5. 借入金等返済支出(130,350千円)

日本私立学校振興・共済事業団並びに市中金融機関への借入金返済額です。

## 6. 施設関係支出(1,119,467千円)

土地支出	14,000千円……	岡崎キャンパス	隣接地購入	14,000千円
建物支出	1,053,256千円……	中学・高等学校	AV機器改修工事	2,057千円
		宇治キャンパス	月照館ガス・空調等	603,992千円
			サロン・ド・パドマ	447,207千円
構築物支出	52,210千円……	中学・高等学校	宇治キャンパス硬式野球部倉庫	567千円
		宇治キャンパス	7号館東側散水栓設置	315千円
		〃	ゴミ置場給水設備	252千円
		〃	芝生植生	51,076千円

## 7. 設備関係支出(643,043千円)

教育研究用機器備品支出	598,615千円
その他の機器備品支出	2,843千円
図書支出	40,416千円
車両支出	1,167千円

## 8. 資産運用支出(587,093千円)

シティグループ<sup>®</sup> 円貨社債87,093千円、ロイヤルバンク・オブ・スコットランド<sup>®</sup> 社債100,000千円、福岡県公債300,000千円および退職給与引当特定預金として、100,000千円を積み立てました。

## 9. その他の支出(352,655千円)

前年度の未払金支払分49,478千円、預り金支払支出分302,412千円他であります。

## 10. 資金支出調整勘定(△51,338千円)

前述のとおり、資金収支計算書は当年度の資金の顛末を表す必要から、支出科目の中に次年度以降の支出(未払金)が含まれていますから、それを差し引く必要があります。内訳として、私学共済掛金15,092千円、私大退職金財団掛金21,490千円、消費税支出分628千円、労働保険料8,546千円等があり調整のためマイナスします。

## 11. 次年度繰越支払資金(4,135,294千円)

次年度へ繰越す資金で、年度末において貸借対照表上の現金預金科目となっております。

## 12. 支出の部合計(12,577,258千円)

収入の部合計と同額であります。